

令和5年度 単位研究会 活動紹介



滋賀県公立小中学校事務研究協議会

今年度は4年ぶりに滋事研総会・研修会や研究大会などを参集で開催し、会員相互の交流と学びを深めることができました。また、滋事研では令和2年度に創立60周年を迎えておりましたが、コロナ禍であったため事業の実施を見送っていたため、本年度6月に記念事業として講演会を開催しました。

1. 滋事研創立60周年記念講演(令和5年6月16日)

講師:株式会社morich代表 森本千賀子氏

「変化の世の中を生き抜くキャリア戦略～プロフェッショナル～仕事の流儀」

2. 研修講座(令和5年7月25日)

講師:ココヨ株式会社 ワークスタイルイノベーション部 主幹研究員 斎藤敦子氏

「環境を変えて、意識と行動を変える。未来の学び場をデザインしよう。」

3. 滋事研研究大会(令和5年11月17日)

【大会サブテーマ】「**広げよう、繋げよう、みんなでつくるチーム学校**」

①全体会:湖西ブロック(大津市・高島市)からの実践報告

②講演 講師:文部科学省 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 藤原文雄氏

「**共同学校事務室を生かした学校運営への参画～専門職化に向けたロードマップ～**」

③研究部報告 県内学校事務職員意識調査アンケートの考察について

④分科会 第1分科会(栗東市)共同学校事務室をアップデート～チームりっとうの挑戦～

第2分科会(湖南市)「課題解決を実現させるための手立てを考える」

～学校事務職員のスキルアップをめざして～

4. 滋事研ホームページリニューアル

<https://shijiken.xsrv.jp/> をご覧ください。



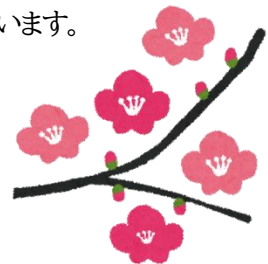
京都市立学校事務研究会

京都市立学校事務研究会では、昨年度まで職務領域の拡大や学校事務の効率化・標準化を通して、学校の働き方改革や事務職員の校務運営参画を推進する「学校事務標準化プロジェクト」を行ってきました。今年度は「校内事務の標準化」について引き続き研究を進めるとともに、これまで提案した学校事務の標準化の定着、専門性を活かした校務運営への参画を目指しています。

12月の研究大会では、「学びの環境整備～子どもの豊かな育ちを支援する学校づくりを目指して～」をテーマに、学校や子どもたちを取り巻く社会情勢に目を向け、事務職員の可能性や果たすべき役割について展望する機会としました。

2月には就学援助研修会を行います。研究会が提言した校内での標準的な役割分担で、円滑に事務が進められるよう学び合いたいと考えています。また、業務の適正化や効率化を図る資料の作成等、事務職員の業務改善に向けての取組も進めています。

若年者からベテラン層まで、どの世代の会員の方にも魅力のある研究会を目指して活動しています。



大阪府公立学校事務研究会

第32回大阪府公立学校事務研究大会

2023年(令和5年)11月1日(水)、クレオ大阪東において、第32回大阪府公立学校事務研究大会を開催しました。集合及びZoomオンライン併用形式で実施しました。

①行政説明

大阪府教育庁教職員室教職員人事課小中学校人事グループ 課長補佐 柴原 朋子 様をお招きし、行政説明をしていただきました。共同学校事務室や共同実施の状況、取組事例、「第2次大阪府教育振興基本計画」等について、お話しいただきました。

②記念講演

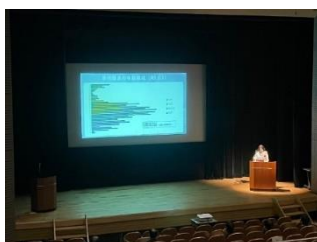
SOS子どもの村JAPAN 子どもの村福岡 村長 足立 慎一 様をお招きし、「学校改善と学校事務職員のリーダーシップ～学校予算を通して～」と題してご講演いただきました。

③研究部報告

『「共同実施の機能について」～他自治体の共同実施組織調査まとめ～』と題して、研究報告しました。

研修部事業

経験年数別の研修講座、ニーズや今日的課題に即した内容の研修講座を実施し、体系的研修制度の研究を行っています。



奈良県公立小中学校事務研究会

- 令和5年度 研究主題「これからの学校経営を担う学校事務の探求」
ミッション「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」
目指す事務職員像「自ら考え行動する事務職員」



重点目標

- 1, グランドデザイン「すまいる奈良2」で示されている「ささえる」「つなぐ」「ひらく」の3つの視点から、求められるリーダーシップとマネジメント力を探り、子どもたちの学びの環境整備について考える
- 2, 魅力ある研究会であるための持続可能な組織開発と組織活動の活性化
- 3, 支部活動の充実 地域特性を活かした研究の継続

○第49回 奈良県公立小中学校事務研究大会

大会テーマ「拓こう！明日の教育を担う学校事務を」

サブテーマ ～仲間と共に！ウェルビーイングの実現を目指した学校づくり～

期 日 令和5年12月11日

場 所 橿原文化会館 小ホール

支部発表 大和高田市「TAKADA魂」で業務改善！

～つながる・ささえる学校事務～

五條市 業務の標準化・学校間連携の強化を目指す！

～チーム五條でめまぐるしい時代を乗り越えよう～

御所市 10本の矢でアップデートチャレンジ

～御所市のみんなを笑顔にするために～

吉野郡西 気持ちはいつも一歩前へ！次世代の未来のために…

吉野郡東 ICTを活用した学校間連携

～Google Workspaceを活用した、山間部9町村の取組～

助言者 奈良県教育委員会 事務指導員 竹本友史子 氏

☆4年ぶりに参集型で研究大会を県内会員限定で開催。5支部の発表を1つの会場で行い、物品管理・情報共有・Google Workspaceの活用など、子どもたちや教職員にとってのウェルビーイングの実現と次世代を見据えた発表であり「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」のための発表となり実り多き研究大会であった。

○研修会

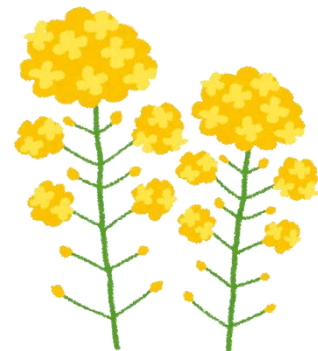
第1回学校事務研修会

期日 令和5年7月4日

演題 学校事務職員として子どもの学びに携わっていくためには

ー学びの環境整備を担う事務職員の学校組織への関わりー

講師 大阪教育大学 准教授 田中真秀 氏



第2回学校事務研修会(オンライン開催)

期日 令和6年1月15日

第1講座 教職員のメンタルヘルス (共済奈良支部共催)

講師 公立学校共済組合 近畿中央病院 メンタルヘルスケアセンター
公認心理師 臨床心理士 荒井明日香 氏

第2講座 働き方改革と業務改善

～些細なこと、身近なところから～

講師 奈良県教育委員会 事務指導員 竹本友吏子 氏



○新規採用(任用)事務職員フォローアップ事業

○県校長会・教頭会・事務研究会合同会議

令和5年12月13日開催

単位研究会 役員交流会

令和6年2月28日(水)に、近畿公立小中学校事務職員研究会の各单位研究会の役員を対象とした、『単位研究会役員交流会』を Zoom によるオンライン会議形式で開催しました。当日は、近事研の役員を含め、19名で交流を行いました。

まず、事前にアンケートで答えていただいた「事務研究会と共同実施(学校間連携)との役割の違いについて」「現時点での事務研究会の課題について」という2つのテーマについて、プレゼン資料を使いながら、それぞれの研究会から紹介をしていただき、その後は役職ごとにグループに分かれて交流しました。

各研究会ともに、研究会活動は研究や研修を通して、資質向上や自らの実践につなげていく大切な場としての必要性は認識しつつ、一方で学校事務職員の世代交代や多忙化が進む中、研究会活動の担い手が減っていき、活動の継続が難しくなっており、グループ交流の中では、持続可能な研究会活動を行っていくために、活動内容を見直していく必要があり、様々な取組を行っている所であるなどの意見が出されました。

近事研では、これまでも単位研究会の代表者による代表者会は定期的に行っていましたが、代議員会や幹事会の場以外で、代表者以外の役員も含めて意見交流する機会は初めての試みでした。今回の交流会は、各立場から多くのご意見をいただくことができ、とても有意義な意見交流の場になったと思っております。近事研では、これからも近畿の仲間との交流の機会を積極的に作っていきたいと考えています。



【近事研サマーフォーラム】
令和6年7月26日(金)午後
～会場変更のお知らせ～
大阪私学会館にて開催します。